

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

■ 設定のしかた

・凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。

■ 凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



オート便器洗浄

自動で便器洗浄する/しない
オート便器洗浄

自動で便器洗浄するまでの時間を
水が流れるまでの時間※2

リモコン表面

- 1 止 押す
リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)
- 2 おしり/ソフト 押す
- 3 ビデオ/ワイド 押す
- 4 設定したい項目を選んでボタンを押す

「短い」するとき 「標準」に
するとき 「長い」に
するとき

「短い」 約5秒後
「標準」 約10秒後
「長い」 約15秒後

●「便ふた閉止後洗浄モード」が入の場合は、上記で便ふたが開まったあと、水が流れます。

<設定完了>

オートふた開閉

自動で便ふたを開閉する/しない
オートふた開閉

自動で閉まるまでの時間を
ふたが閉まるまでの時間※4

リモコン表面

- 1 開閉 押す
リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)
- 2 ビデオ/ワイド 押す
- 3 おしり/ソフト 押す
- 4 設定したい項目を選んでボタンを押す

「短い」するとき 「標準」に
するとき 「長い」に
するとき

「短い」 約25秒後
「標準」 約30秒後

<設定完了>

■ ご使用のタイプを選択してください



凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に「H」なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に「H」あり

流動方式

ヒーター付便器・水抜併用方式

流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）


便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

便器の水たまり面を下げる (水の蒸ね返り低減や検便のときなど) 水面下げる	便器とウォシュレットの水を 一定の間隔で自動で流す 凍結防止	電子音を 鳴らす/鳴らさない 電子音								
<p>1 止 と 水勢 + リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)</p> <p>2 水勢 - 押す</p>										
<p>3 おしり/ソフト 押す</p> <p>4 ビデ/ワイド 押す</p> <p>ビデ/ワイド</p> <p>便器内の水が流れて低い水位でたまる <設定完了></p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。 	<p>3 ビデ/ワイド 押す</p> <p>4 設定したい項目を選んでボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「する」に設定すると、約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。 <table border="1"> <tr> <th>「する」とき</th> <th>「しない」とき</th> </tr> <tr> <td>水勢 + ビッ</td> <td>水勢 - ビーツ</td> </tr> </table> <p><設定完了></p>	「する」とき	「しない」とき	水勢 + ビッ	水勢 - ビーツ	<p>3 おしり/ソフト 押す</p> <p>4 設定したい項目を選んでボタンを押す</p> <table border="1"> <tr> <th>「鳴らす」とき</th> <th>「鳴らさない」とき</th> </tr> <tr> <td>水勢 + ビッ</td> <td>水勢 - ビーツ</td> </tr> </table> <p><設定完了></p>	「鳴らす」とき	「鳴らさない」とき	水勢 + ビッ	水勢 - ビーツ
「する」とき	「しない」とき									
水勢 + ビッ	水勢 - ビーツ									
「鳴らす」とき	「鳴らさない」とき									
水勢 + ビッ	水勢 - ビーツ									

ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1** 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

 - ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)
- 2** **押す**

(給水管の圧抜き)
- 3** 電源プラグを抜く
- 4** 配管の水を抜く

①便座・便ふたを開ける

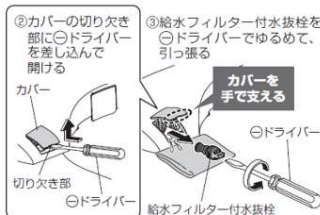
②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける

③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る

カバーを
手で支える

⊖ドライバー

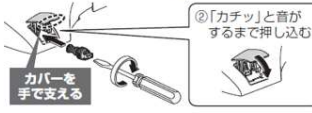
給水フィルター付水抜栓


- 5** 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
⊖ドライバーで確実に締める

②「カチッ」と音がするまで押し込む

カバーを
手で支える


- 6** 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する
- 7** **高**を押してタンクの水を抜く^{*1}
- 8** 便座温度を「高」にする

・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。

お知らせ

 - ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
 - ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

*1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあと便器洗浄します。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1** ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
止水栓カバーを取りはずし、
止水栓または元栓を閉める

■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

 - ・止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2** 止水栓カバーを取り付ける
- 3** **高**を押してタンクの水を抜く^{*1}
- 4** **高**を押す

(給水管の圧抜き)
- 5** 電源プラグを抜く
- 6** 配管の水を抜く

■凍結のおそれがあるときは

 - ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。

再通水のしかた

- 1** 止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を開ける
または、水抜栓を操作して、給水する

 - ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
 - 2** 止水栓カバーを取り付ける
 - 電源プラグを抜いているときは
電源プラグをコンセントに差し込む

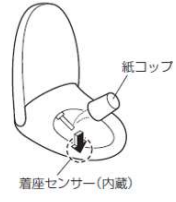
 - ・「運転」ランプが点灯する
 - 4** ①ノズルから水を出す

(1) 手または腕で着座センサー部に触れたまま、
(2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
(3) 手または腕を着座センサー部からはずす

② **高**を押す^{*1}

 - ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)
 - 給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)

■残水が凍結して水が出ないとき

 - ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
 - 5** 便器に水がたまってから、もう一度 **高**を押す^{*1}
- 

*1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあと便器洗浄します。